

## 令和5年度（2023年度）論作文課題

### 論文課題

- 大学卒業程度等〔事務職、事務職（情報）、学校事務職、社会福祉職、心理相談員、技術職（土木・建築・機械・電気・化学・農業・造園）、保健師、文化財専門職、助産師、学芸員（考古学）、薬剤師、管理栄養士（社会人経験者の管理栄養士を含む）〕  
社会環境が急激に変化する中、本市においては様々な課題が山積していますが、その中であなたが最優先で取り組むべきと考える課題とその理由、その課題に対してどのようなことに取り組むべきか、1, 200字以内で述べなさい。
  
- 獣医師  
公務員の獣医師としてなすべきこと、大切なこと、役割とは何か、あなたの考えを1, 200字以内で述べなさい。
  
- 消防職（大学卒業程度）  
災害発生時の自治体の課題に関する調査で、「災害発生直後の初動対応が迅速にできない」という回答がもっとも多かった（41.5%）。初動対応の課題とその対策を担当者としてどのように考えているか、1, 200字以内で述べなさい。
  
- 社会人経験者対象〔事務職、事務職（情報）、技術職（土木・土木（10月採用）・建築・機械・電気・動物専門職）〕  
住民サービスには、まだ改革・改善の余地がある。  
これまでの経験を踏まえて何をなすべきか、あなたの考えを1, 200字以内で述べなさい。
  
- 事務職（法務）  
昨今の法務職には、高度な法的知識のほかに、法的思考力を備えた人材や、法的リスクに対する管理能力をもつ人材が求められている。その理由や本市での法務職の役割、それに必要な資質や能力はどのようなものと考えているか。あなたの考えを1, 200字以内で述べなさい。

## 作文課題

### ○ 高等学校卒業程度等

市役所は「市民にいちばん近い場所」と言われる。この言葉の意味と、だからこそ本市職員として心がけるべきことは何か。あなたの考えを800字以内で述べなさい。

### ○ 就職氷河期世代対象

就職氷河期世代と呼ばれ、逆に強みを持つことができたことは何か。あなたの考えを800字以内で述べなさい。

### ○ 看護師、理学療法士、言語聴覚士、歯科衛生士（社会人経験者の理学療法士、言語聴覚士、歯科衛生士を含む）

治療や療養生活を送る市民の生活の質（QOL）の向上のために大切なこと、必要なこととは何か、800字以内で述べなさい。

### ○ 障がい者対象

互いに助け合い、支え合う社会の実現のために本市職員としてなすべきことは何か。あなたの考えを800字以内で述べなさい。

## 令和5年度（2023年度）集団討論課題

- ※ 集団討論を実施しない職種もあります。詳しくは各試験案内をご覧ください。
- ※ 課題が複数ある場合は、グループごとに、課題の中の1題を出題

### 【大学卒業程度等】

- 本市では「いつでも、どこでも、手軽に、手続やコミュニケーションが可能な、市民にとって付加価値の高い市役所の実現」を目指し、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進している。市役所サービスをDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、市民にとってよりよいものとするためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市では、区役所が地域の実情や多種多様な市民ニーズを的確に把握し、市の施策に反映させていくため、「地域担当職員」を各まちづくりセンターに配置している。「地域担当職員」は、地域（住民や自治会等）の相談窓口、地域情報収集・行政情報発信、地域コミュニティ活動支援の強化に取り組んでおり、地域からの相談・要望については、区と関係する市役所の各課で協議・検討を行い、課題解決を図ることとしている。このように、市民との対話を通したまちづくりを進めていくため、地域担当職員に求められることはなにか、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 熊本市は全国の政令指定都市の中で主要な交通渋滞の箇所数が最も多い状況である（3大都市圏を除く）。交通渋滞は、市民の生活のみならず、流通などの経済活動にも深刻な影響を及ぼすことから、熊本市においても対策に取り組んでいるところである。熊本市の交通渋滞を解消するためには、どのような施策が有効か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市は、「熊本市国際戦略」において、「世界に認められる『上質な生活都市』」を目指すこととし、インバウンドの回復等による交流人口の増加や、貿易及び企業立地等の投資の促進につなげる「海外展開」と、その土台となる多様性や創造性を育む「地域の国際化」を戦略的に推進しているところである。今後、本市が多文化共生社会を実現し、国内外から選ばれる都市になるためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市では、若年層から高齢者まで全ての市民が生涯を通じて生きがいを持ちながら豊かな人生を送れるよう、スポーツや文化活動を気軽に楽しむ機会や、新たな知識や技術などを身に付けることができる多様な学習機会の充実に取り組んでいる。今後、この取組を推進していくためには、どのような施策が有効か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市においては、熊本城をはじめとする史跡、天然記念物など、貴重な文化財の適切な保存・調査研究・整備・活用を図っている。文化財を適切に保存した上で、これらを有効に利活用するためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 現在、熊本県域において、特に国内外の半導体関連企業の進出意欲が高まっているところである。本市としても、これを好機とし、半導体関連産業を中心とした、企業の新たな設備投資を本市に呼び込むための取組を進めている。国内外の半導体関連企業の関心を高め、本市への誘致につなげるためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 熊本市の農水産業においては、地域の高齢化などに伴う後継者不足や耕作放棄地の増加、自然災害や鳥獣被害の発生などの課題に加え、環境への負荷低減に向けた一層の取組が求められている状況である。このような中、熊本市において、持続的な農水産業の発展を図るとともに、国内外での競争力を高めるためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 子どもや高齢者、障がいのある人への虐待、SNSなどの普及に伴う誹謗・中傷、性的マイノリティへの差別・偏見などが社会問題になっている。今後、より一層の人権教育及び啓発を推進し、人権意識の高揚と全ての市民の人権が尊重される社会づくりを進めるためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 健康長寿延伸の最大の阻害要因と言われる生活習慣病の多くは、一人ひとりの意識、心がけと行動で予防できるものの、平均寿命と健康寿命には大きな開きがある状況である。熊本市民の健康寿命を延伸するためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 本市では、結婚・妊娠・出産・子育てといった、それぞれの場面において切れ目のない一体的な支援を実施することにより、安心して子育てができる環境の整備に取り組んでいる。熊本市で子育てをしたいと思ってもらえるまちづくりのためには、どのような施策が有効か、グループで話し合い、意見をまとめてください。

### 【社会人経験者対象】

- わが国では2022年の出生数が80万人を割るなど人口減少が進む中、政府は「異次元の少子化対策」を掲げている。各自治体においても独自に少子化や子育て支援対策に取り組んでいるところであるが、熊本市が取り組むべき少子化・子育て支援対策として、どのような施策が有効か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- ChatGPTをはじめとした生成系AIのような革新的技術は、これから更に加速度的に開発が進み、発展していくものと考えられる。これらを活用することにより、業務効率化については市民サービスの向上に寄与することが期待されるが、一方で、正確性の問題や情報が流出する可能性などのリスクが指摘されている。本市では、今年6月1日からChatGPTの業務利用について、検証チームによる実証実験を開始しているところであるが、生成系AI導入のメリット・デメリットを整理し、行政としてどのように活用していくことが必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。
- 2020年に新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、経済活動が停滞し、特に観光産業においては、観光需要の減少等により厳しい状況に置かれた。そして、アフターコロナ・ウィズコロナと言われている現在、インバウンドが回復基調であることや、旅行ニーズの多様化など、観光産業を取り巻く状況は変化してきている。今後、観光産業を通して、熊本市をより活性化させていくためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめてください。

### 【事務職（法務）】

- 公務員の担う業務は社会環境の変化や市民ニーズの多様化により複雑・多様化しており、きめ細やかに対応していくためには関係法令をしっかりと熟知しておく必要がある。法令に関する知識に濃淡がある職員や市民と業務を進めていく上で、事務職（法務）として求められる能力やスキルはなにか、また、それをどのように活かしていくかについてグループで話し合い、意見をまとめなさい。

### 【高等学校卒業程度等】

- 現在、改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっているものの、熊本市においても、なかなか着用率が上がらない状況が続いている。着用率を向上させるため、本市としてどのような取組が有効か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
  - 近年では、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生している。若い世代が、災害に対する危機感や、対策の重要性などを身につけるため、熊本市としては、どのような取組が考えられるか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
  - 本市では市政日より、市ホームページ、テレビ・ラジオ番組、SNS等の各媒体を活用し、市政に関する様々な情報を発信している。このような中、若者世代に対しては、特にどのような情報を発信すべきか、また、どの媒体を使ってどのように発信すべきか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
  - 本市の事業は多岐にわたっており、住民票や戸籍に関する業務をはじめ、子育て支援、高齢者・障がい者支援、経済対策、観光、農業、まちづくり、ごみ処理、環境問題対策に加え、SDGsやDXの推進等、様々な取組を行っている。このような中、本市がこれからさらに力を入れるべき取組とその理由についてグループで話し合い、意見をまとめなさい。
  - 30年後の熊本市が明るく楽しいまちであるために、今からどのようなことに取り組んでいくべきか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
  - 熊本には、サッカーチームのロアッソ熊本、バスケットボールチームの熊本ヴォルターズ、野球チームの火の国サラマンダーズといったプロスポーツクラブがある。これらのプロスポーツクラブは各競技の発展のみならず、地域活性化や観光振興等も期待されているところであるが、これらの効果を最大化するためにはどのような取組が考えられるか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- ### 【就職氷河期世代対象】
- 令和5年4月、こども家庭庁が創設されるとともに、「こども基本法」が施行された。「こども基本法」は、こどもや若者に関する取組を進めていくための基本となる事項を定めた法律であるが、こどもや若者は、一人ひとりがとても大切な存在であり、自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていくことが重要である。こうした「こどもまんなか社会」を実現するため、今後、熊本市としては特にどのようなことに取り組んでいくべきか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。